

⑤2024年問題への取組みについて

	西濃運輸	遠州西濃	伊豆西濃	丸久運輸
新たに 取組みした内容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> 10月より北大阪支店（大阪府茨木市）を、全国から九州宛ての商品を受け入れる【中継輸送専門店】として稼働し、輸送力を強化する 	<ul style="list-style-type: none"> 半休の有給取得の促進 →班内の協力体制を強化し、物量の波動に合わせた人員配置で、休みがとれる環境を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> 四季、月、週、曜日単位の繁閑に対応した配送シフトを組み、総残業時間を圧縮する 乗務員の業務量（時間）を均一化するために、複数エリアを担当可能なJobローテーションを実施する 	<p>【運行（配車）ルートの改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山発関東向けの貸切長距離便について、過去データを分析して、配車計画の見直しを図る（納品先住所・納品指定時間・配送ルート・出発地の積み込み時間などのファクターを組み合わせ、コンプライアンスに合う配車パターンを策定し、それをシステム管理できる仕組みを構築） ドライバー採用の強化と定着促進のための教育体制 トレーラー運行コース（工場⇄倉庫間の2回転輸送）が中距離・長時間コースで、道路状況により拘束時間が伸びる時があり改善の必要があった
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> 大阪貨物ターミナル近接という立地を生かし、幹線トラックと鉄道輸送を組み合わせた効率的な運行体制を構築 →取扱可能物量 67,200t/年 増加 →効率化効果 204百万円/年 繁閑の物量波動にも柔軟に対応可能となる 	<ul style="list-style-type: none"> 有給取得が取りやすい環境作り、労働時間の削減効果で若手社員（20～30代）の採用が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー：50時間以内 事務職：25時間以内 一週間単位で実績を管理し是正する 	<ul style="list-style-type: none"> ドライバー採用媒体を複数化したことにより、昨年4名→本年8名を採用 トレーラー運行コース、週に1回を1回転とすることで時間短縮を実施